

# 第50号 特集

# はちまんたい議会だより第50号

市民の皆さまに市議会の情報をお届けするための「ギカイのひろば」が、本号で第50号を迎えました。これを記念し、これまでの議会だよりを振り返ります。

## 町村合併で新創刊

はちまんたい議会だよりの第1号は、平成17年9月1日、旧西根町・松尾村・安代町の3町村の合併により、同年の12月に発行されました。内容は、合併時においての未執行予算などの議案審議内容が掲載されました。これ以降、3・6・9・12月の定例会ごとに年4回発行され、今号で通算50号となります。



合併後、初の定例会記事(第1号)

## 紙面リニューアル

平成27年5月の第39号発行分から、はちまんたい議会だよりの名称を「ギカイのひろば」と改め、面を採用し、議会と市民の橋渡し役として、市民の目線に立ち、議会の活動状況を分かりやすく、かつ親しみがあり、手に取ってもらえる紙面づくりを行いました。



紙面リニューアル後の表紙記事(第39号)

## 紙面は議員が編集

「ギカイのひろば」は、市議会の活動と、市政の情報を、市民の皆さまにお届けすることを目的として、議員自らが編集しています。編集された内容は、選任された6人の議員で構成された議会広聴広報常任委員会で決定し、分かりやすく、親しみやすくを念頭に、紙面づくりをしています。



紙面リニューアル後の定例会記事(第39号)

## 議会だより第50号の発行に寄せて

はちまんたい議会だより「ギカイのひろば」が、第50号の発行を迎えました。平成17年の3町村合併後の第1号から、これまでご愛読いただきました市民の皆さまへ感謝と御礼を申し上げます。議会の活動内容を市民の皆さまにお伝えすることを目的として、議員自らが紙面づくりに携わり、議会のことだけでなく、市民からのご意見もできるだけ紹介するように心がけてまいりました。



議長 古川津好

今後も、市民に寄り添った紙面づくりに努めてまいります。引き続きご愛読をお願い申し上げます。

## 1 班

● 11月11日 ●

田頭コミュニティセンター

■ 参加者 6人

- ▼ 松川の災害の復旧が遅い。
- ▼ 企業誘致に進展が見られない。企業誘致できる職員を育成するべき。
- ▼ 大更駅周辺のまちづくり事業の形が、さっぱり見えない。
- ▼ 議員が政務活動費で視察してきたことが、市のためになっているのか、もっと市民に知らせるべき。
- ▼ 議員は、若い世代の人たちと話をする場を設けるべき。



議員が5会場に分かれて参加者と意見交換しました  
松尾コミュニティセンター(11月11日)

# 市政への提言強化のため市民と議論

## 議員と語る会

八幡平市議会は平成29年11月11・12日の両日、議会報告会「議員と語る会」を開催しました。市内5会場で開かれた議員と語る会には市民など60人が参加。議員自らが平成29年第3回定例会などの議会報告をしたほか、市政全般について意見交換を行いました(掲載は主なもの)。



田頭コミュニティセンター  
(11月11日)



## 西根病院から市立病院 に名称変更などを可決

今回は  
市長提出議案 33件  
議員提出議案 2件  
請願 2件  
報告 1件



移転により、市立病院に名称変更する西根病院

**Q** 事業管理者が、他の地方公務員の職を兼ねる可能性があり得るのか。  
**A** 想定する事業管理者の医師に関して、兼職の可能性は極めて少ない。  
**Q** 事業管理者は、どういう専門の医師なのか。  
**A** 県立中央病院などを通じ、事業管理者になる医師の人选をお願いしている段階であり、専門についてはまだ不明である。

### 病院事業管理者の 給与などを定める

移転後に、名称を西根病院から市立病院に変更することや、病院事業の地方公営企業法全部適用にあたり、病院事業管理者の給与および旅費に必要事項を定めようとするものです。

【議案第2号】 八幡平市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例  
【議案第4号】 八幡平市病院事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例

### 農業委員の選出方 法を変更する条例

国の法律改正に伴い、農業委員会が、その主たる使命である農地利用の最適化を、よりよく果たせるようにするものです。

【議案第3号】 八幡平市農業委員会委員等定数条例

【主な内容】  
▼農業委員会の業務の重点は、農地利用の最適化の推進であることを明確にする。  
▼地域の農業をリードする担い手が、透明なプロセスを経て確実に就任するようにするため、市議会の同意を要件とする市長の任命制に変更する。  
▼農業委員とは別に、各地域において農地利用の最適化を推進する農地利用最適化推進委員を新設する。

### 2 班

● 11月11日

松尾コミュニティセンター

参加者 14人

▼英会話を普及させるために、補助金支給や英会話教室が必要であり、それが観光につながる。  
▼国道282号北森駅付近に、駅を利用する人のために横断歩道の設置は可能か。また、バス停も駅前に設置してほしい。  
▼空き家が放置されている。撤去費用を国から補助してほしい。  
▼また、空き家を活用するのはどうか。  
▼道案内の標識が足りない。  
▼街灯の老朽化が目立つ。調査後の対応がない。その後、どう対応していくのが見えない。  
▼スポーツ合宿誘致は、宿泊費免除や助成金支給だけでなく、病院と連携できる体制など、恒久的な環境づくりが必要である。  
▼100歳まで長生きさせるための、現場を回るスタッフや相談員を増やせないか。

### 3 班

● 11月11日

寺田コミュニティセンター

参加者 12人



寺田コミュニティセンター (11月11日)

▼若谷地で大雨が降ると、道路が川のようになり、床下浸水する箇所がある。排水について、どのように計画しているのか。  
▼地元で就職する子どもたちが少なければ、この先、市の将来が不安である。その対策を行っていないように感じる。  
▼平館高校に、一丁企業へ就職できる学科の新設が必要ではないのか。  
▼地権者の分からない土地の面積は、どのくらいあるのか。

### 2 班

● 11月12日

大更コミュニティセンター

参加者 14人



大更コミュニティセンター (11月12日)

▼一級河川の現状復旧において、工事前より1層くらい低い。市から県に連絡しているのか。  
▼田頭中村から市役所までの道路整備は、計画的に進めてほしい。  
▼コミュニティバスの乗客が少なく、大型バスは無駄である。  
▼平笠小学校と田頭小学校の学校統合は、生徒数の減少を考えると早くした方がよい。  
▼市道などの軽舗装の優先順位の基準があるのか。生活道路は、早くやってほしい。

### 3 班

● 11月12日

田山コミュニティセンター

参加者 14人



田山コミュニティセンター (11月12日)

▼原案同意、原案可決、原案承認の意味を教えてください。  
▼コミュニティバスの運行について、利用者に運行内容などの周知が必要ではないか。  
▼雇用促進住宅は、今後どうなるのか。  
▼除雪について、朝早くうるさいと苦情があるが、通学、通勤に間に合うように除雪してほしい。  
▼なぜ、女性議員がないのか。  
▼スポーツ交流館までの道路を拡幅してほしい。